

会社概要

- 名 称 株式会社 ウイゼル
- 資 本 金 5,800万円
- 設 立 1994年6月
- 本 社 〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-7-10 ランディック虎ノ門ビル
TEL.(03)3431-1110 FAX.(03)3431-1233
- 役 員 代表取締役 中橋 孝
社外取締役 浜田 みどり
- 顧 問 春田 泰徳 (公認会計士・税理士)
秋保 健 (社会保険労務士)
- 取 引 銀 行 三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行
- 業 務 内 容 ・特許調査
・翻訳



沿革

- 1994年 6月 東京都千代田区飯田橋に設立 資本金2,000万円
特許調査・解析・翻訳・通訳業務を開始
- 1996年 4月 東京都港区虎ノ門へ本社移転
- 1998年 3月 調査部員、ヨーロッパ特許庁にて研修
- 2001年 4月 ヨーロッパ特許庁発行 季刊公報誌 "EPIDOS News" (現 PI News) の和訳を同特許庁の許可を得て弊社のホームページに掲載開始
- 2002年 4月 日本知的財産協会 加入
11月 アメリカ／ロサンゼルスにて開催されたIPO(Intellectual Property Owners Association) 30周年記念総会において特許調査・翻訳等サービス商品の展示
- 2003年 10月 ワシントンDCにて開催された
AIPLA(American Intellectual Property Law Association) 総会に出席
- 2004年 6月 特許庁より「中小企業等特許先行技術調査支援事業者」として選定を受け、事業を開始
- 2005年 3月 AIPPI(日本国際知的財産保護協会)入会
4月 **大阪支社 大阪市西区京町堀に開設**
11月 INFOPRO 2005にて研究発表
- 2006年 4月 **名古屋支社 豊田市小坂本町に開設**
9月 (独)産業技術総合研究所から受託した技術動向調査「金のナノ粒子触媒」の成果が「特許ビジネス市」で紹介される
10月 千葉県中小企業知的財産戦略支援事業でお手伝いした特許情報調査“バイオマスボトル”的内容がテレビ朝日「知恵の輪ニッポン」で放送
- 11月 INFOPRO 2006にて研究発表
「テキストマイニング専用のフリーウェアTermiを活用した特許情報解析方法」について
- 2007年 1月 名古屋大学知的財産部教員向け特許情報検索について名古屋支社長が講習
6月 関西特許情報センター振興会創立50周年記念事業「特許検索競技大会」に
大阪副支社長が試験委員として参画
- 12月 スティーブ・マントン著「統合化された知的財産マネジメント」を
東京工業大学大学院准教授田中義敏氏と共に翻訳監修し、発明協会より出版
- 2008年 1月 INTA(International Trademark Association)に入会
5月 INTA 130回年次総会出席
9月 AIPPI BOSTON 2008総会出席
- 2009年 11月 創立15周年 山口大学知的財産部門長教授佐田洋一郎講師による
「中小・ベンチャー企業のための知的財産セミナー」開催(東京・大阪)
- 2010年 5月 弁理士・中小企業診断士 尼崎浩史(化学、バイオ)顧問就任
(ワイゼル在職中2003年弁理士試験合格)
- 12月 弁理士 東智朗(電子、情報通信、ソフト)顧問就任 (2012年12月退任)
(ワイゼル在職中2006年弁理士試験合格)
- 12月 資本金5,800万円に増資
- 2011年 11月 EPO審査官3名来社 弊社調査スタッフがCPC等について詳細な説明を受ける
- 2014年 2月 IPCC主催による特許検索競技大会2013にて調査部 涌井利果が個人の部において最優秀賞を受賞
- 2015年 5月 元トヨタ自動車株式会社知的財産部長青山高美氏顧問に就任
6月 平成27年度全国発明表彰式において青山高美顧問発明奨励功労賞を受賞
- 12月 IPCC主催による特許検索競技大会2015にて尼崎浩史顧問が個人の部において最優秀賞を受賞
- 2016年 9月 ミラノAIPPI総会 出席
- 2017年 3月 一般財団法人日本特許情報機構 平成28年度特許情報普及活動功労理事長賞を受賞
- 2018年 3月 名古屋支社 閉鎖
12月 IPCC主催による特許検索競技大会2018にて弊社社員が個人の部 ゴールド認定
及び 団体の部 第2位を受賞(バイオ・医療・化学課チーム)
- 2019年 10月 虎ノ門ヒルズにて創立25周年記念講演会開催
- 2021年 8月 本社移転
- 2024年 10月 大阪支社 閉鎖
11月 代表取締役社長 交代

休眠資産から活用資産へ
特許調査サービス

機密厳守

■ ワイゼルの調査サービス

1. 調査目的に応じてコンパクトな調査から、数千件規模でスクリーニングを行う大規模な調査まで幅広く対応いたします。
2. 海外調査の豊富な実績・ノウハウがあり、社内での調査または現地の調査機関・代理人への依頼の両方が可能です。
(調査実績国:米国、欧州諸国、中国、韓国、台湾、BRICs、ASEAN等)
3. 一般文献を対象とした調査は、データベースだけでなく図書館でのマニュアル調査も可能です。
4. バイオ・医薬・化学・電気・機械・情報の調査チームを擁し、幅広い技術分野について調査が可能です。
5. 医療機器など技術分野を跨ぐ調査に対しては、各チームが連携して対応いたします。
6. 特許情報と非特許情報(一般文献や企業情報、規格など)を組み合わせた調査も対応可能ですので、ご相談ください。
7. 検索式の作成や検索式の妥当性のチェックのみのご依頼にも対応いたします。

■ 調査の種類

1. 特許調査	2. その他調査
(1) 技術開発のための調査 (2) 解析資料データ作成(分類付与) (3) 情報解析・動向調査 (4) 先行技術調査 (5) 侵害回避調査 (6) 特許無効・情報提供資料調査 (7) SDI (8) 検索式作成	(1) 特許公報・特許出願明細書の取寄せ (2) 一般文献の取寄せ (3) 包袋・登録原簿の取寄せ (4) 経過情報調査 (5) ウォッチング調査 (6) 対応特許(パテントファミリー)調査 (7) 意匠調査

■ 使用するデータベース

1. 国内調査用 / J-PlatPat、JP-NET、SRPARTNER など
2. 海外調査用 / Derwent Innovation、SRPARTNER、STN、Orbit Intelligence、JP-NET、CNIPR(日本語版)、各国特許庁データベース など
3. 一般文献調査用 / JDreamⅢ、STN など

■ 見積について

- ◎ 見積は原則として無料で行っております。料金・納期は案件ごとに異なりますので、お気軽にご相談ください。
- ◎ 見積に際しての事前の打ち合わせは、Web会議等、お客様のご要望に応じて適宜対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

■ 調査担当者のスキルについて

- ◎ それぞれの目的に応じて、調査の質の維持・向上を図るため、INPUT検索エキスパート研修、日本知的財産協会の各研修、欧州特許庁(オランダ、ハーグ)内情報検索研修等を受講しております。
- ◎ 特許検索競技大会での受賞実績がございます。
- ◎ AIPEの知的財産アナリストに認定された実績がございます。

■ 報告内容について

- ◎ 調査方法と結果の詳細を示す調査報告書、ご希望の様式による抽出文献リストと抽出公報PDF等の添付、グラフ作成、その他様々なご要望に応じます。
- ◎ 調査報告会の実施は、お客様のご要望に応じて適宜対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

■ 機密保持について

お客様の調査内容に関連する資料等の取り扱いは、お客様との取り決めや社内で策定した機密情報管理のルールに基づいた厳密な管理の下に行います。
(ご指示に基づき「秘密保持誓約書」の提出又は「秘密保持契約書」の締結をさせて頂きます)
勿論、お客様とのやりとりの際にも機密漏えい防止について十分に留意いたします。

特許情報解析・技術動向調査

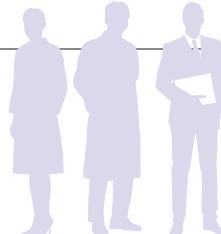
■ 従来と異なるユニークなアプローチ法と期待できるアウトプットは?

- 特許分析のプロが技術評価と情報解析を融合させ、従来にない多面的な角度から調査、解析、提言を行います。
- 特許情報を各企業の経営戦略・特許戦略を踏まえて深読みすることにより、技術開発動向の把握のみならず、企業間の競合や有望市場を探索いたします。
- 研究開発、事業開発の方向性を判断する指針が得られます。



■ ご活用いただきたい方々は?

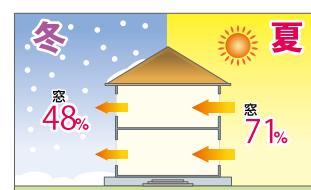
- 経営企画、商品企画、研究開発、事業企画、新規事業開発をマネジメントする方々
- 知的財産のマネジメントや技術ライセンスの専門家
- 実用化技術の研究開発に従事するエキスパート



実績例

■ 調光遮熱技術

近年、集中豪雨による都市型災害が多発するようになり、ヒートアイランド対策の一環として開発された、太陽エネルギーを波長選択的に制御する「調光遮熱技術」の特許情報解析と研究論文を組み合わせた動向調査です。



- ガラス、有機性フィルム等の素材
- 建材、自動車、ゼネコン・設計、住宅設備
- 印刷、OA

の各業界の方々に多大な関心をもって、活用していただきました。

■ その他の動向調査としまして、次のテーマも取り扱いました

- バイオミメティクス
- プラスチック代替素材
- プラスチックのリサイクル技術
- AAV (アデノ随伴ウィルス)
- 甘味料
- 抗体医薬
- 水処理技術
- 内視鏡
- 3次元計測技術
- エナジーハーベスティング
- スマートチェア
- HMD (ヘッドマウントディスプレイ)
- 電動アシスト自転車
- CASE (Connected: コネクテッド、Autonomous: 自動運転、Shared: シェアリング、Electric: 電気自動車)

休眠資産から活用資産へ

翻訳サービス

機密厳守

■ 翻訳サービスの特長

- 経験豊かな翻訳者による高品質なマニュアル翻訳を提供します。
- 社内の優秀なチェッカーによる厳密なチェックにより、迅速かつ正確に、お客様の文書の翻訳を作成、納品します。
- 用語集の作成(継続発注のお客様用)をします。

■ 翻訳対象

1. 対象文献

特許出願明細書、特許公報、一般文献、学術論文など。

2. 対象分野

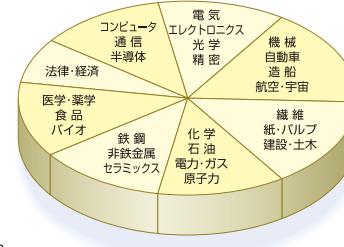
右の図のように、ほぼ全ての技術分野に対応可能です。

3. 対象言語

英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語など。

4. 登録翻訳者

専門の言語、分野において弊社トライアルに合格した、
特許翻訳等の実務経験豊かな翻訳者が、多数登録されております。



■ 見積について

翻訳の納期および料金のお見積は、原則として無料で行っております。お気軽にご相談ください。

■ 納品について

電子データをE-mailにて納品します。ご要望によりFAX、ハードコピーでの納品も承ります。
クラウドストレージによる納品も可能です。

■ 翻訳実績

多数の特許事務所、法律事務所、大手企業から、20年以上継続して、特許出願用の明細書等の翻訳依頼を数多く引き受けております。

中国語、韓国語の翻訳および翻訳チェックは、特に質の高さについてご好評をいただいており、受注件数が増えております。

ヨーロッパ特許庁の許可を得て、2001年から2019年までのヨーロッパ特許庁発行の季刊公報誌『PI-NEWS』の日本語訳を手掛けました。

弊社の翻訳サービスの特色

機密厳守

1. 特許調査も行っている為、用途に合わせた翻訳が可能です

- 例) ・出願目的の明細書翻訳 ⇒ 各国出願様式に合わせた翻訳
(米国出願、日本出願、国際出願様式など)
・中間処理翻訳 ⇒ フォーマットに基づいて
・侵害調査目的の公報翻訳 ⇒ 原稿に忠実に
・先行例調査目的の公報翻訳 ⇒ 技術内容に重点を置いて

2. ご指定の用語、表現方法に合わせて翻訳します → 用語集作成

継続してご発注いただければ、お客様に合わせた用語集を作成し、用語リストを蓄積していきます。
(用語集に基づいて翻訳を行うと、別の翻訳者による翻訳でも、用語のばらつきがなくなります)
ご希望により、用語集の提供も行います。

3. 社内チェック

翻訳者からあがってきた翻訳を、厳密にチェックします。

- ・お客様のご要望通りに作成されているかどうか
- ・それぞれの国の特許プラクティスが考慮されているか
- ・チェックポイント：
1.語学的要素 2.用語の選択 3.技術的解釈 4.抜け・漏れの有無 5.レイアウト
6.原文に対する忠実さ

中国語・韓国語の翻訳チェックサービス



従来の出願の問題点



- 翻訳ミスが原因の拒絶理由が全体の30% ●
- 翻訳ミスにより特許係争事件で敗訴するケース多発 ●
- 翻訳ミスにより権利行使不能に陥った特許続出 ●

新規翻訳チェック業務

既に翻訳された文章のチェックをお引き受け致します。
ネイティブによるチェックを行っています。

受注

日本語↔中国語・韓国語

チェック

- クレームチェック
記載不備、不明確な記載、用語の不一致、内容漏れ、特許プラクティスに合っているか等
- 明細書(全文)チェック

納品

- 特許プラクティスに合わせた弊社のコメント

従来の問題点 解決